

第18回文京区看護職交流会・東京都訪問看護教育ステーション事業共催アンケート集計

2019/12/20 19:00～20:45

事務局：訪問看護ステーションけせら

テーマ：「生き方・向き方を考えよう ～人生会議とスピリチュアルケア～」

場所：文京区シビックセンター（小ホール）

講師：大下大圓（おおしただいえん）高野山大仏教学科卒 飛騨千光寺住職 日本ホスピス在宅ケア研究会理事
名古屋大学医学部講師

参加者：当日参加者約180名（事前申し込み195名）

アンケート回収141枚（回収率78%）

参加者判断基準（配布資料作成185－配布残り10＝175＋アンケート記載できないスタッフ約5名と判断＝180名

＜事前応募者＞

1. 一般市民の方	41
2. 病院・クリニック	34
3. 訪問看護St	88
4. 介護・福祉等の施設関係	1
5. 地域包括支援センター	2
6. 役所・行政関係	2
7. 居宅介護支援事業所	13
8. その他介護サービス事業	8
9. 教育関係（学生含む）	1
10. その他	5
小計	195

問7 アンケート参加者性別

1男性	8
2女性	126
3不明	7
小計	141

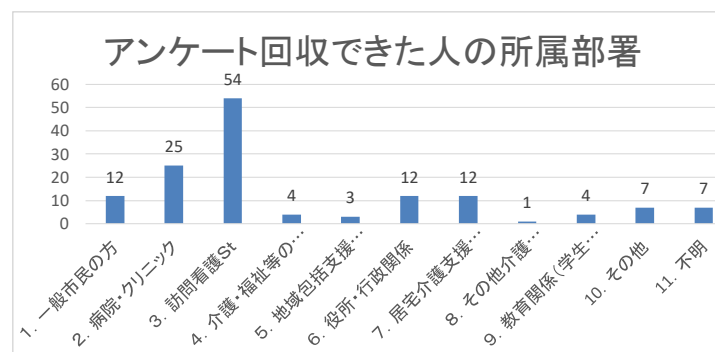


アンケート記載者の年齢

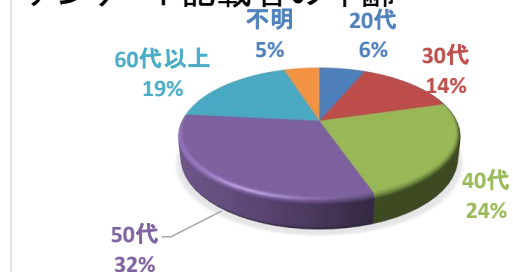
20代	9
30代	20
40代	34
50代	45
60代以上	26
不明	7
小計	141

＜アンケート回収できた人の所属部署＞実数 %

1. 一般市民の方	12	9
2. 病院・クリニック	25	18
3. 訪問看護St	54	38
4. 介護・福祉等の施設関係	4	3
5. 地域包括支援センター	3	2
6. 役所・行政関係	12	9
7. 居宅介護支援事業所	12	9
8. その他介護サービス事業所	1	1
9. 教育関係（学生含む）	4	3
10. その他	7	5
11. 不明	7	5
小計	141	100



アンケート記載者の年齢

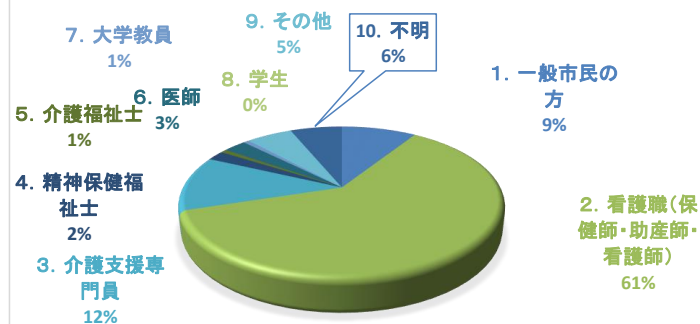


<回収したアンケートの職種>

1. 一般市民の方	13	9
2. 看護職(保健師・助産師)	88	61
3. 介護支援専門員	17	12
4. 精神保健福祉士	3	2
5. 介護福祉士	1	1
6. 医師	4	3
7. 大学教員	1	1
8. 学生	0	0
9. その他	8	5
10. 不明	9	6
小計	144	100

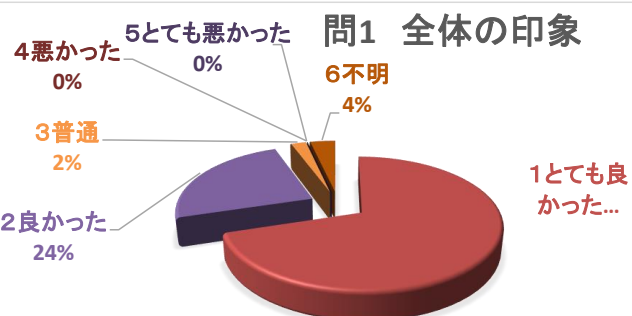
複数回答

回収したアンケートの職種



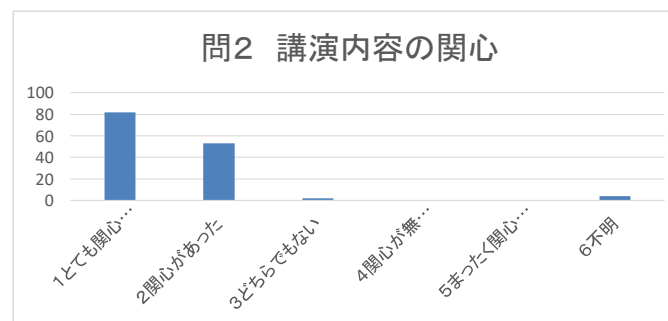
問1 全体の印象

		%
1とても良かった	99	70
2良かった	34	24
3普通	3	2
4悪かった	0	0
5とても悪かった	0	0
6不明	5	10
小計	141	100

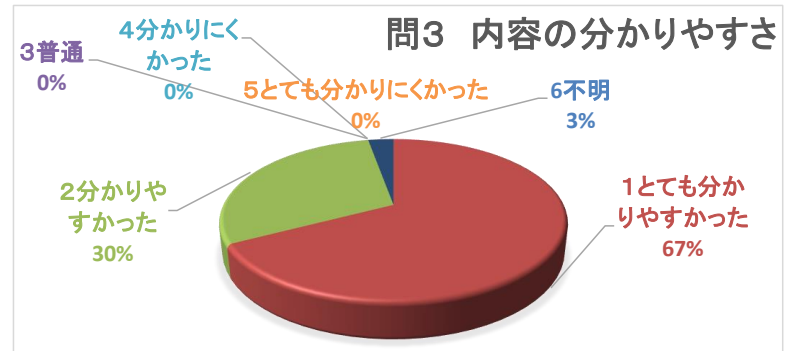


問2 講演内容の関心

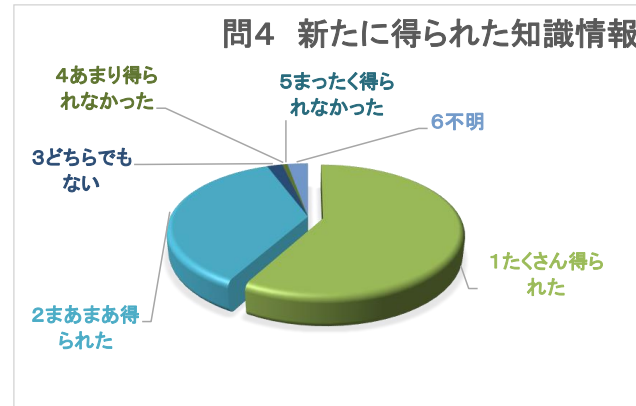
		%
1とても関心があった	82	58
2関心があった	53	38
3どちらでもない	2	1
4関心が無かった	0	0
5まったく関心が無かった	0	0
6不明	4	3
小計	141	100



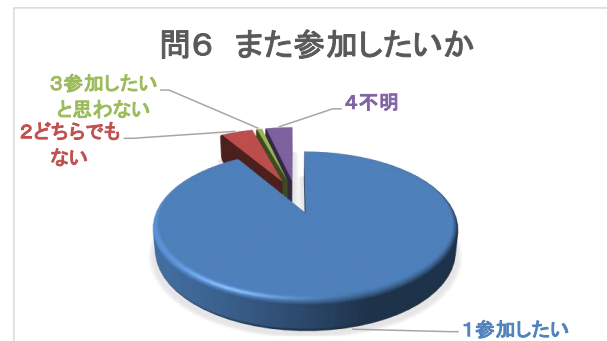
問3 内容の分かりやすさ	%	
1とても分かりやすかった	95	67
2分かりやすかった	42	30
3普通	0	0
4分かりにくかった	0	0
5とても分かりにくかった	0	0
6不明	4	3
小計	141	100



問4 新たに得た知識情報	%	
1たくさん得られた	82	58
2まあまあ得られた	51	36
3どちらでもない	3	2
4あまり得られなかった	1	1
5まったく得られなかった	0	0
6不明	4	3
小計	141	100



問6 また参加したいか	%	
1参加したい	129	91
2どちらでもない	6	4
3参加したいと思わない	1	1
4不明	5	4
小計	141	100



アンケートNo. 問8 今回の講演会でのご意見や今後取り上げて欲しいテーマや活動・意見

1. 研修と思って参加しましたが、これだけ泣いてしまったのは初めてです。お忙しい中での企画ありがとうございました。大下先生のお話は、またぜひ聞きたいなと思いました。
2. ご本人の生きざまが、家族にも大きな影響を与えることにあらためて感じました。最後のふるさとをうたった時に自然と涙が溢れました。ありがとうございました。
3. 神様や仏様は信じていないと言っていますが、ご先祖は何となく信じています。宗教が救いになることがあると在宅に来て思いました。在宅と急性期病院がもっと繋がりその人らしい死が誰にももたらされることを願っています。
4. 興味ある会で大変勉強になりました。
12. 瞑想について
20. 医に関係なしの参加でしたが、今日の講義をもっとPRした方が良いと思う。高齢者にサークル・体操教室などの高齢者の心構えの知識確認になると思ってしまいました。スピリチュアルのワードは今のTVで良いイメージが無いので、やさしい同意語でPRするともっと一般参加者が多くなると思います。
23. すごく良かったです。やはり事例では涙が出ました。4つの生き方メモしました。とても良かったです。また、深い部分が聞きたいです。
25. ぜひ、瞑想の方もご講演やっていただきたいです。勿論ご本も読みたいと思います。
33. 宗教の大きさを感じましたが、日常の中に宗教を失っている日本の現状にぞっとします。在宅でひ孫に看取られる終末期に人がどれだけいるだろうか。透析の人はホスピスに入れないし、すばらしい実践と現実を思い出し少々複雑でした。
34. 具体的なACP。
40. 講師紹介がだらだらと長くしかもわかりずらく興ざめでした。
42. スピリチュアルケア師、臨床宗教師の存在を初めて知るきっかけができました。次回は、瞑想について学びたい。
43. とても分かり易かった。
50. ナラティブ
52. 高齢社会を・・・
53. ご本人の死生観を大切に寄り添うスピリチュアルケアは業務にすると訪問が割けない時もありますが、とても大切なことだと思います。
55. 日本臨床宗教師会、臨床宗教師について関心が持てた。今後、個人のスキルアップとしての平日学んだことをさらに深めて学習していきたい。
59. 大変貴重なお話をありがとうございました。是非この続きを期待しています。
63. 次回は、瞑想について学びたいと思います。
67. スピリチュアルケアについて重要なことはわかっていましたが、実際話を患者様や家族に聞いている時、言葉の端々に意味や本心を聞いているのか考えさせられました。もう一度自分の行っているケアについて(話している言葉やその時の気持ち)を振り返ってみたいです。ありがとうございました。
76. 薬の話。区報にも載せて下さい(今回は、？仮診療所でチランを頂きました)
80. 臨床宗教師のどこ知りませんでした。スピリチュアルケアは科学的な根拠がないと思ってきました。学術的な領域でも多くの研究がされていることが分かりました。勉強になりました。地域でスピリチュアルケアを必要としている方もいると思うので紹介したいです。引きこもりの支援取り上げて欲しいです。
81. 今回の講演の前に、認定コースの臨地実習でスピリチュアルな関わりを実践しました。関わりの中で受容する事や共感することについてまとめました。大下先生の仰るように、その方もご家族も私に答えを求めてはいませんでした。その場において最後まで寄り添う事の大切さを学びました。私はその方やご家族とのかかわりの中で多くを学び、ケアを提供しながらも私もその方やご家族にケアをされていたと実感しています。ACPは、普段からその方を知ることが大切だと思いました。ありがとうございました。
88. キュアとケアの違いをキャンサーサバイバーの一人として経験した。その後いかに生き、生き活きとした一生を過ごすことが生きるテーマとなり試行錯誤しています。仏教の言葉である“往生”の意味が良く分かった思索性と哲学性に富む内容だった。
89. 自身の生き方、患者の生き方を見つめる良い時間になりました。訪問看護の仕事ではなく予防の仕事についているので看取りに寄り添う期会はないのですが、15年突然身内を亡くしたので「また会えるね」という気持ちで日々仏壇に声をかけています。ありがとうございました。
92. 3年ほど前に先生の瞑想学習会へ参加しました。またお話が聞ければいいと思っていた時に、この案内がありうれしく思いました。
93. たくさん考える題材を聞かせていただきありがとうございました。大変心に響くお話でした。
96. 講演会の後に懇親会のようなものがあると嬉しいです。
102. 新宿区にも看看連携の交流会や訪問看護ステーションの勉強会などありますが、文京区でも同じような会があり、日々自分の仕事や生活を活かすために頑張っているのだなと思いました。今回の研修は、今後みなとまた勉強してみたいと思いました。今日は大変勉強になりました。ありがとうございます。瞑想にも興味ありますので、次回の研修に期待しております。
106. 自己決定を支えるケア。

107. 80才になる主人、体調もあやふやになってきて近い将来向かい合うことになる事をなんとも言葉にならない不安(恐怖でしょうか)、毎日上がったり下がったりと気持ちに変化しています。こんな時期にこの講演に参加できたことを、今後気持ちの成長として考えていきたいと思いました。
110. (スピリチュアルケア・宗教)を医療の現場や在宅医療の言語に照らし合わせたお話として分かり易かったです。
114. 市民合同講演会では、やはり在宅医療を広く市民に知っていただけるようなテーマが大事。くり返しやっていって情報格差をなくしていかなければならないと考えます。
118. 肩の力を抜いてゆったりとお話を伺う事が出来ました。自分を良い状態に置くことが周りにも良い影響となる(自利)大切なのは本人の思い(意志)をとことん聴き希望を支える事などなど、とても良く理解できた。今後、臨床宗教師の方々とともに活動出来たら良いなと思いました。まだまだたくさんお話を伺いたいです。貴重なご講演ありがとうございました。
123. 事例体験をお話しいたいて、とても勉強になりました。臨床宗教師という言葉は初めて耳にしました。医療の現場に20年近くいますが、認知度が低いのかなという印象でした。普段看護(訪問)をしていて治療というよりかは精神的followが必要な場面が多く、より臨床宗教師の方々がより多くに人に認知されるよう活動されていくと良いと思いました。また、そのような方々の教えの元、訪問看護をしていけたら助かるだろうと思いました。
131. 「スピリチュアルケア」本人家族の思いが近付いていかない時、深い部分までなかなか踏み込めない時、日々難しいと感じています。私自身の喪失体験からさらにその大切さを感じています。より一層、本人・家族に寄り添えるNsになっていきたいと思います。貴重な時間をありがとうございました。
133. 臨床宗教師はこれからニーズが高まるのではないかと思います。“死”をさけないで“死”を語ることがよりよく“生きる”ことに、そして“生”を支えることに繋がるのだと感じました。一方で現実的な看取りができなかった家族の苦しみもありました。貴重なお話ありがとうございました。
137. 思いがけない話でした。最近、知人を亡くした後なので、これからの悲しみや自分の気持ちのフォローをいづらかできた。
139. 動物が人へ与えるもの。セラピー的な内容。